

令和3年度事業報告書

社会福祉法人 階上町社会福祉協議会

会務の運営

1. 理事会

回	開催月日	開催場所	出席数	議 案		結 果
1	令和3年 6月2日 (水)	ハートフルプラザ・は しかみ (大会議室)	理事 12名 監事 3名	議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号 人事案1号 人事案2号 人事案3号 協 議	定款の一部を改正する定款の制定について 令和2年度事業報告並びに決算報告について 令和3年度資金収支補正予算(案)について 令和3年度定時評議員会の招集について 令和3年度第1回評議員選任・解任委員会の招集について 理事の選任候補者の提案について 監事の選任候補者の提案について 評議員の選任候補者の提案について 令和3年度共同募金配分申請事業について	原案決議 承 認 原案同意 原案決議 原案決議 原案決議 原案決議 原案決議 原案承認
2	令和3年 6月21日 (月)	ハートフルプラザ・は しかみ (大会議室)	理事 12名 監事 3名	人事案1号 協 議	会長、副会長、常務理事の選定について 部会員の構成について	選 定 原案承認
3	令和3年 11月5日 (金)	ハートフルプラザ・は しかみ (大会議室)	理事 11名 監事 3名	報告第1号 報告第2号 議案第1号 議案第2号 人事案1号	ハートフルプラザ・はしかみの指定管理者指定申請について 会長及び常務理事の職務の執行状況について 定款細則の一部を改正する細則の制定について 令和3年度第2回評議員選任・解任委員会の招集について 評議員の選任候補者の提案について	原案決議 原案決議 原案決議
4	令和4年 3月11日 (金)	ハートフルプラザ・は しかみ (大会議室)	理事 12名 監事 3名	報告第1号 報告第2号 報告第3号 議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号 議案第6号 議案第7号 議案第8号 議案第9号 議案第10号 人事案1号 人事案2号	令和3年度共同募金配分事業変更計画について 令和3年度自己評価実施結果について 会長及び常務理事の職務の執行状況について 部会設置規程の一部を改正する規程の制定について 会員規程の一部を改正する規程の制定について 経理規程の一部を改正する規程の制定について 階上町社協指定居宅介護支援事業所運営規程の一部を改正 する規程の制定について 階上町社協ヘルパーステーション運営規程の一部を改正す る規程の制定について 階上町社協ヘルパーステーション介護予防・日常生活支援総 合事業第1号訪問事業(介護予防訪問介護相当サービス)運営 規程の一部を改正する規程の制定について 令和3年度資金収支補正予算(案)について 令和4年度事業計画並びに資金収支予算(案)について 令和3年度第2回評議員会の招集について 令和3年度第3回評議員選任・解任委員会の招集について 評議員選任・解任委員の補欠の選任について 評議員の選任候補者の提案について	原案決議 原案決議 原案決議 原案決議 原案決議 原案決議 原案決議 原案決議 原案決議 原案同意 原案同意 原案決議 原案決議 選 任 原案決議

2. 評議員会

回	開催月日	開催場所	出席者数	議 案	結 果
1	令和3年 6月21日 (月)	ハートフルプラザは しかみ (大会議室)	評議員 29名 理事 4名 監事 1名	議案第1号 定款の一部を改正する定款の制定について 議案第2号 令和2年度事業報告並びに決算報告について 議案第3号 令和3年度資金収支補正予算(案)について 人事案1号 理事の選任について 人事案2号 監事の選任について 協 議 令和3年度共同募金配分申請事業について	原案決議 承認 原案承認 選 任 選 任 原案承認
2	令和4年 3月25日 (金)		書面決議	議案第1号 部会設置規程の一部を改正する規程の制定について 議案第2号 会員規程の一部を改正する規程の制定について 議案第3号 令和3年度資金収支補正予算(案)について 議案第4号 令和4年度事業計画並びに資金収支予算(案)について 報告第1号 令和3年度共同募金配分事業変更計画について 報告第2号 令和3年度自己評価実施結果について	原案決議 原案決議 原案承認 原案承認

3. 監査会

回	開催月日	開催場所	出席者数	内 容	結 果
1	令和3年 5月24日 (月)	ハートフルプラザは しかみ (中会議室)	監事 3名	1. 令和2年度業務執行状況について 2. 令和2年度計算関係書類、財産目録について	適正に処理さ れていること を認めた
2	令和3年 11月26日 (金)	ハートフルプラザは しかみ (中会議室)	監事 3名	1. 令和3年度上半期業務執行状況について 2. 令和3年度上半期計算関係書類、財産目録について	適正に処理さ れていること を認めた

4. 評議員選任・解任委員会

回	開催月日	開催場所	出席者数	議 案	結 果
1	令和3年 6月8日 (火)	ハートフルプラザは しかみ (応接室)	委員 4名	人事案1号 評議員の選任について	選 任
2	令和3年 11月12日 (金)	ハートフルプラザは しかみ (応接室)	委員 3名	人事案1号 評議員の補欠の選任について	選 任
3	令和4年 3月16日 (水)	ハートフルプラザは しかみ (応接室)	委員 3名	人事案1号 評議員の補欠の選任について	選 任

5. 専門部会

(1) 総務企画部会

回	開催月日	開催場所	出席数	協議案件
1	令和3年 6月21日 (月)	ハートフルプラザ・は しかみ (大会議室)	部会員 5名	1. 部会長、副部会長の互選 2. 部会所掌事項等について
2	令和3年 10月14日 (木)	ハートフルプラザ・は しかみ (中会議室)	部会員 5名	1. ハートフルプラザ・はしかみ指定管理について 2. 第43回階上町社会福祉大会について 3. その他
3	令和4年 2月24日 (木)	ハートフルプラザ・は しかみ (中会議室)	部会員 6名	1. 令和3年度共同募金配分事業変更計画(案)について 2. 自主財源について 3. ハートフルプラザ・はしかみ指定管理について 4. 介護保険事業について 5. その他

(2) 地域福祉部会

回	開催月日	開催場所	出席数	協議案件
1	令和3年 6月21日 (月)	ハートフルプラザ・は しかみ (大会議室)	部会員 6名	1. 部会長、副部会長の互選 2. 部会所掌事項等について
2	令和4年 1月17日 (月)	ハートフルプラザ・は しかみ (中会議室)	部会員 5名	1. 福祉に関する住民意識調査について 2. 地域福祉懇談会について 3. その他
3	令和4年 2月17日 (木)	ハートフルプラザ・は しかみ (中会議室)	部会員 5名	1. 令和4年度実施事業の検討について 2. 福祉教育プログラムについて 3. 災害ボランティアセンター運営マニュアルの見直しについて 4. 令和3年度共同募金実績及び配分事業の検討について 5. その他

6. 幹部会

回	開催月日	開催場所	出席者数	協 議 案 件
1	令和3年 4月14日 (水)	ハートフルプラザは しかみ (小会議室)	5名	1. 任期満了に伴う役員及び評議員改選に関わるスケジュールについて 2. 任期満了に伴う役員及び評議員候補者について 3. その他
2	令和3年 5月27日 (木)	ハートフルプラザは しかみ (小会議室)	5名	1. 令和3年度第1回理事会提案議案について 2. 令和3年度定時評議員会提案議案について 3. 令和3年度第2回理事会提案議案について 4. 令和3年度第1回共同募金委員会運営委員会提案議案について 5. 令和2年度介護保険事業等実績について 6. 令和3年度社協会費について 7. 第71回三戸郡社会福祉大会被表彰候補者の推薦について 8. 新型コロナウイルスワクチン接種について 9. その他
3	令和3年 8月31日 (火)	ハートフルプラザは しかみ (中会議室)	4名	1. 令和3年度第2回共同募金委員会運営委員会提案議案について 2. 令和3年度社協会費実績状況について 3. 第43回町社会福祉大会について 4. 敬老会中止に伴う記念品等について 5. 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う対応等について 6. その他
4	令和3年 10月18日 (月)	ハートフルプラザは しかみ (小会議室)	5名	1. ハートフルプラザ・はしかみ指定管理について 2. 令和3年度第3回理事会提案議案について 3. 令和3年度社協会費実績状況について 4. その他
5	令和3年 12月24日 (金)	ハートフルプラザは しかみ (応接室)	4名	1. 令和3年度共同募金実績状況について 2. 令和3年度介護保険事業等実績状況について 3. 令和4年度町補助金・委託金交付申請内容について 4. いきいきシルバーバンク事業について 5. 第4次地域福祉活動計画策定に関する取組みについて 6. 職員募集について 7. その他
6	令和4年 3月4日 (金)	ハートフルプラザは しかみ (応接室)	5名	1. 令和3年度共同募金配分事業変更計画について 2. 令和3年度第4回理事会、第2回評議員会提案議案について 3. 令和3年度第3回共同募金委員会運営委員会提案議案について 4. 職員募集について 5. その他

理事・監事・評議員等名簿

令和4年3月31日現在

1. 理事（定数10名以上13名以内）

会 長	松 橋 竹 子		
副 会 長	十文字 倉 男	堰 合 勝 美	
常 務 理 事	鳩 文 男		
理 事	平 野 悦 子	上長根 武 志	中 島 孝 一
	森 榮 吉	濱 谷 三枝子	松 川 金次郎
	岩 城 恵 子	梨 子 謙 一	中屋敷 司

2. 監 事（定数3名以内）

上 博 文	郷 州 満	田 中 昇
-------	-------	-------

3. 評 議 員（定数31名以上34名以内）

山 下 和 子	岩 谷 悦 子	外 崎 礼 子	川 浪 秀 一
土 橋 秀 子	廣 田 勝 三	小 室 行 弘	磯 島 富 盛
松 川 純 悦	土 橋 美智子	荻 沢 一 信	南 正 人
鹿 原 仁	左 舘 幸 雄	野 沢 敏 雄	小 坂 正 年
境 栄 治	日 向 登美男	守 政 美	木 村 良 三
上 平 稔	大 下 修	澁 谷 一 枝	坂 本 憲 子
田 端 悟	下 野 ス ミ	下 野 禮知子	石 川 清 香
藤 田 裕 司	鈴 木 晟 爾	長 根 清 子	佐 京 忠 史
濱 道 幸 一	中 田 美亀雄		

4. 評議員選任・解任委員会委員（定数4名）

上 博 文	工 藤 靖 夫	郷 州 満	山 内 良 子
-------	---------	-------	---------

実施報告

I 住民参加と小地域ネットワーク活動の推進

1. 地域住民の主体的福祉活動の推進

(1) 生活支援体制整備事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、9月中及び1月から3月まで事業を休止した以外は、ほのぼの交流協力員やネット協力員による、一人暮らしの高齢者等の訪問活動を進め、互いに支え合う体制・地域づくりの推進に努めた。また、地域の福祉課題把握等のための民生委員、区長、ほのぼの交流協力員等との情報交換会は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止とした。

○田代地区ほのぼの交流会開催事業打合せ会の開催

ほのぼの交流協力員の交代に係る事業推進のための打ち合わせ会を開催した。

- ・期 日 令和3年4月6日（火）
- ・場 所 田代集会所
- ・参加者 7名
- ・内 容 ほのぼの交流会事業内容について等

○ほのぼの交流協力員連絡会議の開催

ほのぼの交流協力員チーフを対象として、事業推進のための連絡会議を開催した。

- ・期 日 令和3年6月28日（月）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（大会議室）
- ・参加者 18名
- ・内 容 ほのぼの交流会開催計画について、事業推進に係る質問意見について 等

○協力員研修会及び情報交換会の開催

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止とした。

○地区別交流協力員・ネット協力員の状況

地区名	対象世帯	交流協力員チーム数	交流協力員数	ネット組織世帯	ネット協力員数
石 鉢	4 5	1	6	1	2
蒼 前	5 0	2	5	1	4
野 場 中	5 3	2	5	2	6
角 柄 折	3 4	1	3	0	0
金 山 沢	6 3	4	8	1	3
田 代	3 1	2	4	1	4
晴 山 沢	2 8	1	6	0	0
平 内	3 4	2	7	0	0
鳥 屋 部	3 5	2	6	0	0
赤 保 内	5 0	1	9	1	4
耳 ケ 吠 西					
耳 ケ 吠 東	3 2	1	9	2	5 (2)
荒 谷	3 3	1	4	0	0
大 蛇	3 9	1	5	0	0
追 越	1 6	1	5	0	0
榊	5 3	1	7	0	0
駅 前	4 7	4	1 0	1	4
道 仏	5 6	5	1 2	1	2
小 舟 渡	5 4	2	7	2	6
合 計	7 5 3	3 4	1 1 8	1 3	4 0 (2)

※ () 内は、ネット協力員も兼ねているほのぼの交流協力員の人数

(2) ほのぼの交流会開催事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、9月中及び1月から3月まで事業を休止した以外は、ほのぼの交流協力員と連携し感染予防・防止対策を行いながら事業を進めてきた。交流会開催にあたっての企画支援や介護予防運動指導員等の派遣調整を行い、参加者同士の交流と地域での仲間づくりを推進した。また、「ほのぼのサロン」についても5月から8月まで、10月から12月までの期間に開催し、高齢者の閉じこもり防止と参加者同士の交流を図った。

○交流会開催状況

地区名	開催回数	場 所	参加者	地区名	開催回数	場 所	参加者
石 鉢	1	石鉢ふれあい交流館	4 2	耳 ケ 吠 東	4	耳ケ吠東集会所	8 2
蒼 前	3	蒼前集会所	8 6	荒 谷	1	旧荒谷集会所	2 5
野 場 中	2	石鉢ふれあい交流館	6 5	大 蛇	2	大蛇三地区集会所	3 7
角 柄 折	4	新田集会所	4 9	追 越	4	大蛇三地区集会所	4 9
金 山 沢	6	金山沢水郷館等	5 1	榊	2	道仏交流センター	4 3
田 代	4	田代集会所	6 8	駅 前	2	道仏交流センター	6 5
晴 山 沢	2	わっせ交流センター	3 0	道 仏	1	道仏集会所	3 5
平 内	2	わっせ交流センター	3 8	小 舟 渡	1	小舟渡集会所	2 8
鳥 屋 部	5	森の交流館等	5 9				
赤保内・耳ケ吠西	4	赤保内集会所	8 6	合 計	5 0		9 3 8

※ 金山沢は、水無、野場、金山沢、長根班それぞれで開催。赤保内は、耳ケ吠西と合同で開催。

○ほのぼのサロン実施状況

場所	開催時期	開催回数	参加者
田代集会所	5/11、18、25	3	4 1
赤保内集会所	7/4、11、18、25	4	4 6
道仏交流センター	7/6、13、20、27	4	1 3 8
石鉢ふれあい交流館	8/4、18、25	3	2 7
森の交流館	中止		
大蛇三地区集会所	10/1、8、15、22、29	5	9 3
わっせ交流センター	11/4、11、18、25	4	2 7
金山沢水郷館	12/3、10、17、24	4	4 8
計		2 7	4 2 0

(3) 緊急通報システム福祉安心電話サービス事業

協力員や民生委員、県社協（中央センター）、関係機関等と連携を図りながら、1人暮らしの高齢者等が住み慣れた地域で生活する上での、緊急時の身体的安全と精神的安心のため、365日24時間対応サービスとしての運営及び近隣住民による見守り活動の推進を図った。また、利用世帯を訪問し機器の点検や通報確認・消耗品等の交換と利用者の状況把握を行うとともに、事業周知に努めながら互いに支え合うネットワークづくりの推進を図った。

○本年度設置台数 2 台

○事業退会者数 4 名

○年度末総設置台数 1 1 台

○協力員数 3 4 名

○通報着信・対応状況

通報着信状況						
緊急	相談	火災	A C 復電	A C 停電	故障	計
1			2	2	1	6

対応状況							
協力員要請	救急車要請	消防車要請	救急・協力員要請	消防・協力員要請	停電・協力員要請	社協対応等	計
			1		2	1	4

(4) 敬老会開催事業

昨年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地区による敬老会を中止し、75歳以上の高齢者を対象として、記念品（紅白饅頭、名入りタオル）、しおりを配布する経費の助成金として記念品配布協力費を各行政区に助成した。

○敬老会しおりの作成 2, 200部

2. 当事者の社会参加の促進

(1) 介護予防・地域支援事業の推進

高齢者の介護予防と生きがいの促進及び家族介護者支援のため、ハート生き生き事業、認知症カフェ設置事業、通所型サービスC事業、家族介護者交流事業を、町地域包括支援センターや関係機関との連携のもとに推進を図った。

①ハート生き生き事業

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、利用者の密を避けるため午前中は赤保内三地区以外、午後は赤保内三地区を対象に実施した。事業は、毎週2回（月曜・木曜日）看護師による健康相談と入浴サービス、趣味講座は詩吟、体操を除く、裂き織り・手芸・舞踊・カラオケを実施し、利用者の心身の健康保持及び要介護状態への予防を図った。

また、ハートフルプラザ・はしかみの利用制限期間中は、趣味講座を中止し、看護師による健康相談と入浴サービスのみを、月曜日は赤保内三地区、木曜日は赤保内三地区以外の方を対象に午前中のみ実施した。

さらに、ボランティアによる見守りのもと、エクササイズ機器やリラクゼーション機器の使用により利用者の心身の健康保持及び要介護状態への予防・啓発を図った。

○事業実施回数	88回（月曜日43回、木曜日45回）
○延べ利用者数	2,846名（月曜日1,233名、木曜日1,613名）
○利用登録者数	97名（男性26名、女性71名）
○実利用者数	72名（男性21名、女性51名）
○新規利用者	10名（男性5名、女性5名）
○入浴サービス延べ利用者数	2,391名
○趣味講座実施状況	

講座名 項目	舞踊	手芸	裂き織り	カラオケ
実施回数	28	30	61	22
利用実人数	6	10	5	13
利用延べ人数	126	180	172	145

②認知症カフェ設置事業

認知症の方やその家族及び地域住民、ハート生き生き事業利用者を対象に、認知症についての相談や情報提供、助言のほか、認知症についての正しい知識や普及啓発を図るとともに、相互の交流の場として、ハートフルプラザ・はしかみに毎週2回（月・木曜日）認知症カフェとして「はあとカフェ」を設置した。

○実施回数・時間	88回（月曜43回、木曜45回） 午前10時～12時、午後1時～3時
○実利用者数	48名（男性12名、女性36名）
○延べ利用者数	1,716名（月曜674名、木曜日1,042名） （男性368名、女性1,348名）

○カフェボランティア

利用者との話し相手や、飲物の提供のほか、感染防止のため室内の消毒・換気等、認知症カフェ運営にご協力をいただいた。カフェボランティア登録者7名。

○実施内容

- ・看護師及び専門職員等による相談、助言等
- ・コロナ禍で気をつけること、自宅でできる体操等についてチラシを配布した。
- ・予定していた認知症予防運動教室は、感染防止のため中止した。

③通所型サービスC事業

毎週1回、ハートフルプラザにおいて「わんつかげんき教室」を集团的・通所形態により実施し、要介護状態への予防を図るとともに、生きがいや自己実現のための取り組みの支援を図った。

【実施期間・回数・参加者数】

3ヶ月（10月～12月） 計12回 参加者28名（女性のみ）

ストレッチ体操、筋力トレーニング、バランス感覚向上トレーニング、簡易な器具を用いた運動や認知症予防体操等を実施し、運動機能の維持と向上を図った。また、難易度の違うメニューを準備し、個々の体力や身体状況に合わせて実施し、上肢、下肢筋力の低下を予防するとともに、参加者の継続意欲向上を図るため、毎回課題を提示し、自宅でも運動に取り組めるよう推進を図った。

○指導スタッフ

作業療法士（運動指導1回）、介護予防運動指導員（運動指導3回）、看護師（12回）、介助ボランティア（12回：延べ24名）、社協職員（運動指導8回）

④家族介護者交流事業

介護者同士の交流と情報交換並びに心身のリフレッシュを図るため、在宅介護者の集いを開催するとともに、介護講座を開催し服薬等についての理解を図った。

○第1回介護者の集いの開催

- ・期 日 令和3年7月26日（月）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ
- ・参加者 10名
- ・内 容 「たいよう先生の体操教室」

講師：日本体育施設協会認定

トレーニング指導士 川口 太陽 氏

○介護者のための「介護講座」の開催

- ・期 日 令和3年11月25日（木）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ
- ・参加者 19名
- ・内 容 講話「お薬のかしこい使い方」

講師：うぐいす薬局

薬剤師 山田 文義 氏

レクリエーション（ペタンク）、小物作り

（2）福祉団体等の育成支援

新型コロナウイルス感染症の影響により、事務局を担当する福祉団体ごとに、役員会等において活動自粛等の協議を行いながら団体ごとの対応を図った。

○事務局担当福祉団体

- ①階上町老人クラブ連合会 ②階上町身体障害者福祉会 ③階上町手をつなぐ育成会
- ④階上町母子寡婦福祉会 ⑤階上町共同募金委員会 ⑥ボランティアサークルけやき
- ⑦階上町在宅介護者の会

（3）ハートフルプラザ・はしかみの管理運営（指定管理事業）

新型コロナウイルス感染症の影響により、感染予防対策をはじめ施設の使用制限等を含め町担当課との連絡・調整を図りながら、安全な施設利用のための対応を図るとともに、第3期指定管理期間の最終年度にあたり第4期の指定管理に向けた協議・調整等を行った。また、新型コロナウイルスのワクチン集団接種及び津波注意報発令に伴う避難所開設の対応を図った。

○施設の利用状況

- ・利用回数 1, 517回（内使用料領収の回数：59回）
- ・月平均利用回数 126回（内使用料領収の回数：4回）
- ・利用人数 30, 682名（内使用料領収の人数：1, 557名）
- ・月平均利用人数 2, 556名（内使用料領収の人数：129名）

○図書の利用状況

- ・利用人数 594名
- ・月平均利用人数 49名
- ・利用冊数 1,673冊（児童図書460冊、一般図書1,213冊）
- ・月平均利用冊数 139冊（児童図書38冊、一般図書173冊）

○施設維持管理、設備機器点検内容

①浄化槽維持管理業務

保守点検：毎月1回、浄化槽清掃：年1回（12月）、水質検査：年1回（11月）
法定検査：年1回（9月）

②消防設備保守点検業務

外観及び機能保守：年2回（6月・12月）、総合保守：年1回（6月）、防火対象物点検：年1回（9月）

③自家用電気工作物保安管理業務

月次点検：需要設備2ヶ月に1回（5月・7月・9月・11月・1月・3月）、年次点検：年1回（7月）

④清掃業務

床ワックス清掃：年3回（7月・11月・3月）、ガラス清掃：年2回（5月・11月）
カーペット洗浄：年2回（4月・11月）

⑤ボイラー空調設備及び給湯ボイラー保守点検

ボイラー空調設備保守点検：年2回（7月・10月）、給湯ボイラー保守点検：年1回（7月）

⑥重油地下タンク清掃及び漏洩検査業務：年1回（7月）

⑦ステップリフト点検業務：年2回（8月・12月）

⑧ピアノ調律・点検：年1回（10月）

⑨レジオネラ属菌分析：年1回（12月）

⑩警備業務委託

警備員による土日祝日及び夜間（17時～21時30分）の施設の戸締り、設備巡視、図書貸出の受付等

⑪機械警備委託（セコム）

夜間（17時～翌日8時）等の施設の防犯、火災異常の機械警備

○消防訓練の実施

1回目

- ・期 日 令和3年11月17日（金）
- ・参加者 12名（職員8名、警備関係者3名、消防設備関係者1名）
- ・内 容 消火訓練、避難訓練

2回目

- ・期 日 令和4年3月30日（水）
- ・参加者 16名（職員8名、警備関係者5名、消防設備関係者3名）
- ・内 容 通報訓練、消火訓練、避難訓練

○意見・要望等の状況（意見箱によるもの）

年度内における意見・要望等はなかった。

○新型コロナウイルスワクチン集団接種への職員派遣

- ・派遣日数 20日（5月：1日、6月：7日、7月：9日、8月：3日）
- ・派遣職員人数 6名
- ・派遣職員延べ人数 48名
- ・業務内容 案内誘導 等

※8月下旬からは、施設管理上の職員対応を図った。

○津波注意報発令に伴う避難所開設対応

- ・避難所開設日 令和4年1月16日（日）
- ・避難者 なし

(4) いきいきシルバーバンク事業

健康で働く意欲のある高齢者の経験や知識、技術を活かし、就労を通じた生きがいづくりと健康・福祉の増進を図るため、町より三陸復興国立公園等道路維持作業業務等を受託し階上岳登山道等の草刈り作業を進めるとともに、就業登録者の募集を図りながら一般世帯のニーズにより草刈り作業等の対応を図った。

○就業登録者 72名（内今年度登録者4名、年度内解除者3名）

○刈払機取扱安全講習会の開催

- ・期 日 令和3年6月14日（月）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（大会議室）
- ・参加者 9名
- ・講 師 三八地方森林組合 技師 沼沢 佳哉 氏
- ・内 容 講義、刈払機取扱実技

○三陸復興国立公園等道路維持作業業務等に係る作業打合せ会の開催

- ・期 日 令和3年6月17日（木）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（中会議室）
- ・参加者 11名（登録者7名、現場管理者2名、事務局2名）
- ・内 容 作業方法、作業場の心得、留意事項等について

※新型コロナウイルスの感染予防のため、新規作業員及び作業班長を対象として実施した。

○三陸復興国立公園等道路維持作業業務等草刈作業路線

- | | |
|----------------------|-----------------|
| ①登山口・石倉線（町道5,700m）2回 | ⑬臥牛園 2回 |
| ②寺下線（林道2,200m）2回 | ⑭放牧場遊歩道等 2回 |
| ③寺下・土折線（町道17,500m）2回 | ⑮大開平遊歩道（トレイル）2回 |
| ④館神社付近（トレイル300m）2回 | ⑯熊野堂（トレイル）2回 |
| ⑤上野・廿一線（町道500m）2回 | ⑰農村公園 2回 |
| ⑥銀杏木・寺下線（町道1,200m）2回 | ⑱三陸道溜池 1回 |
| ⑦野沢・燈明堂下（町道1,100m）2回 | ⑲旧田代小中教員住宅跡地 2回 |
| ⑧上野線（林道600m）1回 | ⑳旧新田児童館跡地 2回 |
| ⑨放牧場前（1,100m）1回 | ㉑旧給食センター周辺 2回 |
| ⑩第1田代線（林道1,300m）1回 | ㉒八工大二高付近（2ヶ所）2回 |
| ⑪第2田代線（林道1,900m）1回 | ㉓榊山町営住宅敷地 2回 |
| ⑫中屋敷・岳線（町道2,200m）1回 | |

○三陸復興国立公園等道路維持作業業務等草刈作業状況

- ・作業日数 42日間（6月：5日、7月：16日、8月：5日、9月：16日）
- ・実作業人員 登録者37名、現場管理者2名
- ・作業人員 延べ585名（登録者497名、現場管理者84名、事務局4名）

○住民ニーズへの対応

一般家庭の草刈り、草取り作業等軽易な作業の対応を図った。

- ・作業依頼件数 81件
- ・作業依頼者数 41名
- ・作業状況

依頼内容 内 訳	草 取 り	庭 木 剪 定	草 刈 り	屋 外 雑 役 （石敷き）	農 作 業	除 草 剤 散 布	大 工	（延べ）計
依頼件数	22件	9件	40件	1件	3件	4件	2件	81件
作業人員	42名	13名	76名	1名	12名	4名	2名	150名
作業日数	31日	17日	63日	2日	4日	4日	3日	124日
延べ作業人員	55名	22名	129名	2名	18名	4名	3名	233名

- ・手数料収入 76,395円

3. 福祉課題の把握

(1) 福祉ニーズ・課題把握

民生委員児童委員やほのぼの交流協力員、関係機関等の連携を図りながら、コロナ禍における地域の福祉課題やニーズ把握等に努めるとともに、第4次地域福祉活動計画策定に向けて、「福祉に関する住民意識調査」を実施した。また、地域の課題把握のための地域福祉懇談会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

○福祉に関する住民意識調査

- ・調査対象者 500名（20歳代から70歳代の住民を対象として地区別年代ごとに無作為抽出）
- ・調査方法 アンケート調査票を対象者へ郵送し返信封筒により回答
- ・実施時期 令和4年2月
- ・回答者 225名
- ・回答率 45%

(2) 地域福祉活動計画の進行管理

新型コロナウイルス感染症の影響により、第3次地域福祉活動計画の進行管理のための委員会設置ができなかったため、令和4年度において設置を図り進行管理を推進する。

II 福祉教育・ボランティア活動の推進

1. 福祉意識の高揚と人づくり

(1) 第43回階上町社会福祉大会

- 期 日 令和3年11月16日（火）
 - 場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（大ホール）
 - スロガン 「ともに生き支えあう福祉のまちづくり」
 - 参加者 69名
 - 内 容 大会式典 社会福祉功労者表彰等（表彰者：伝達12名、表彰12名・1団体、感謝6個人・1団体）
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講演等は行わず大会式典のみの開催とし出席者数を制限して実施した。

(2) 福祉サポーター養成講座の開催

新型コロナウイルス感染症の影響により、中止とした。

(3) 実習生の受入れ

コロナ禍における感染防止対策を徹底しながら、訪問介護員実習生を受入れ、福祉に関わる人材育成を図るとともに、実習指導をとおして職員の専門性の向上に努めた。（訪問介護実習生受入人数：2名）

2. 福祉教育の推進

(1) ボランティア推進校事業の推進

町内全小中学校（小学校4校、中学校2校）を事業指定し、学校ごとの計画によりボランティア活動や体験学習などをとおして、福祉への理解を深める取り組みを推進した。

○事業推進会議の開催

- ・期 日 令和3年6月1日（水）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（中会議室）
- ・参加者 9名（担当教師6名、会長、事務局2名）
- ・内 容 事業内容・留意事項説明、質疑・意見交換

○活動状況（活動報告書より）

学校名	主な活動内容
石鉢小学校	○見心園訪問 ○八戸第一養護学校との交流 ○ほのぼの交流会をととした地域住民との交流 ○赤い羽根共同募金等の募金活動、ベルマーク収集、プルタブ収集 ○聖火リレー応援の参加をととした地域との交流
階上小学校	○学校だより等をととして活動状況掲載 ○デーリー東北、青森テレビの取材による階上子どもえんぶり活動紹介 ○聴覚障害、視覚障害疑似体験の実施 ○通学路の安全確認調査 ○階上岳の清掃登山 ○草刈り、通学路等の清掃活動 ○グラウンドゴルフを通しての高齢者との交流 ○えんぶり披露をととした地域住民との交流 ○新年もちつき会をととした地域住民との交流 ○赤い羽根共同募金等の募金活動 ○ペットボトル蓋の収集活動 ○八戸第二養護学校生徒との交流
赤保内小学校	○学校だより等への活動掲載 ○米づくり、畑作体験学習 ○福祉作文への取り組み ○地域のあいさつ運動実施 ○赤い羽根共同募金等の募金活動 ○プルタブ、ベルマーク等の収集活動 ○赤保内駒踊り保存会からの指導を受けながらの交流 ○読み聞かせボランティアとの交流
道仏小学校	○学校だより等への活動掲載 ○福祉作文への取り組み ○地域深検をととした地域住民との交流 ○ごみ減量とリサイクルへの取り組み ○校内、海岸、駅舎の清掃 ○米作り体験学習をととした地域住民との交流 ○神楽組の方との道仏子ども神楽の指導を受けながらの交流 ○防災に係る活動 ○赤い羽根共同募金等への取り組み
階上中学校	○学校だより等への活動掲載 ○学校環境整備、地域の清掃 ○赤い羽根共同募金への協力
道仏中学校	○活動の展示発表 ○赤い羽根共同募金等の募金活動 ○草刈り、花壇整備 ○学路、海岸や公共施設等の清掃活動 ○ゴミの分別学習 ○大蛇海鳴りソーラン、小舟渡沖上げ音頭披露をととした地域住民との交流

（２）幼児と高齢者のふれあい事業

町内児童福祉施設（保育園４ヶ所）において、施設の行事等をととして地域の高齢者と幼児のふれあい交流の促進に努めた。

○事業推進会議の開催

- ・期 日 令和３年６月１日（水）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（中会議室）
- ・参加者 ６名（担当職員３名、会長、事務局２名）
- ・内 容 事業内容・留意事項説明、質疑・意見交換

○活動状況（活動報告書より）

施設名	主な活動内容
石鉢保育園	ちびっこ夏祭り、運動会、おにぎりクッキング、生活発表会をととしての交流
階上保育園	園庭の草取り・花の手入れ、運動会、発表会、卒園式をととしての交流
はまゆり保育園	じゃがいも植え、野菜苗植え、運動会、収穫祭をととしての交流
道仏保育園	いもまき、さつまいも苗植え、七夕のつどい、大根まき、じゃがいも掘り、大根・さつまいも掘り、クリスマス会をととしての交流

（３）第４２回社会福祉作文の募集と文集「そよ風」の発行

○応募総数 ６４編（小学生５８編、中学生６編） 町内全小中学校より応募

○審査会の開催

- ・期 日 令和３年１０月２１日（木）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（中会議室）
- ・出席者 審査員５名、事務局
- ・内 容 委員長選出、入選作審査（最優秀等入選１２作品を決定）

○入選作品を掲載する文集「そよ風」第４２集を発行（１８０部）するとともに、最優秀作品の社協だよりへの掲載により、児童生徒の福祉に寄せる思いの理解と啓発を図った。

（４）福祉教育プログラムの検討整備

体系的な福祉教育の推進のため、地域福祉部会等において学年や年代ごとの福祉教育プログラムの検討・整備を図った。

(5) 福祉体験学習事業

中学生を対象として、市内の福祉施設での交流や体験学習を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度に続き中止とした。

3. ボランティア活動の推進

ボランティア団体、グループ活動情報登録の周知を図るとともに、安心、安全に活動できるようボランティア保険の周知と加入促進を図った。

○ボランティア保険の加入

・加入者数 256名

Ⅲ 福祉情報の提供・総合相談・自立生活支援機能の充実

1. 福祉情報の提供

(1) 広報誌「社協だより」の発行

社協活動や福祉事業への理解と啓発及び情報提供のため、広報誌として「社協だより」の毎月発行を行い広報活動の充実に努めた。

○社協だよりの発行

- ・発行回数 毎月発行（年度内42ページ）2色印刷
 - ・発行部数 55,200部（4,600部×12ヶ月）
- ※有料広告の掲載事業所はなかった。

(2) 社協ホームページの運用・更新

社協ホームページにより、インターネットによるタイムリーな事業や活動状況の周知を図った。

(HP アドレス <http://www.shakyo.or.jp/hp/220/>)

2. 相談体制の充実

住民の抱える問題や悩み事が複雑多様化する中で、行政相談員・人権擁護委員及び関係機関との連携のもとに相談支援を図るとともに、高齢者相談窓口として町地域包括支援センターとの連絡調整を図りながら事業の推進に努めた。また、専門相談のニーズに対応し毎月1回弁護士による法律相談を実施し、相談者の抱える問題の解決に努めた。

- 相談員数 10名（民生委員4名、学識経験者6名）
- 相談所開設日数 25日（毎週火曜日定例相談所開設、毎月第3火曜日合同相談所開設、毎月第4火曜日法律相談所開設）
- 利用者数 26名（男性5名、女性14名、同伴者7名）
- 相談件数 19件（心配・合同相談：6件、法律相談：13件）
- 運営委員、相談員合同会議（事例研究含む）の開催
第1回
 - ・期 日 令和3年4月14日(水)
 - ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ(大会議室)
 - ・出席者 17名(相談員10名、運営委員4名、会長、事務局2名)
 - ・内 容 主任相談員、主任代理相談員の互選について、令和3年度相談所の運営について
令和2年度利用状況について

第2回

- ・期 日 令和4年3月7日（月）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（大会議室）
- ・出席者 14名（相談員10名、運営委員1名、会長、事務局2名）
- ・内 容 令和3年度相談利用状況について、令和3年度相談事例について
令和4年度相談所の運営について、令和4年度相談所開設日程について

○相談項目ごとの件数と処理状況

相談事項 件数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	合
	生 計	年 金	職 業 ・ 生 業	住 宅	家 族	結 婚	離 婚	健康・保健・衛生	医 療	人 権 ・ 法 律	財 産	事 故	児童福祉・母子保健	教育・青少年	障害者（児）福祉	母子福祉・父子福祉	老人福祉	苦 情	そ の 他	計
取扱件数	1				2		2			2	9								3	19
処 理 状 況	解 決				2		2			2	8								1	15
	再 来																			
	民生委員																			
	他 機 関	1									1								2	4
そ の 他																				

3. 自立生活支援の充実

（1）給食サービス事業

- サービス実施回数 100回（水曜日48回、金曜日48回、火曜日3回、木曜日1回）
- サービス利用実人数 18名（一人暮らし13名、その他5名）
- サービス利用延べ人数 805名（水曜日457名、金曜日348名）
- ボランティア延べ人数 94名（運転0名、補助94名）
- 弁当依頼事業所 サポートセンター虹（八戸市）
- 年末年越し配食サービス（12月31日実施）

75歳以上の一人暮らしの高齢者で、大晦日の年越しを一人で過ごされる方を対象に、ボランティアの協力を得ておせち料理の配食を実施した。

- ・利用者数 139名
- ・配食ボランティア 19名

（2）福祉機器貸与事業

介護を必要とする高齢者等を対象として、福祉機器（介護用ベッド、車椅子）の貸出しを行い、介護負担の軽減を図るとともに、在宅での自立生活支援を図った。

○利用状況

機器名	前年度末 機器台数	寄附受入 台数	廃棄処分 台数	年度末 機器台数	前年度末 貸出台数	貸出台数	返却台数	年度末 貸出台数
介護用ベッド	16	0	3	13	16	0	3	13
車椅子	52	1	3	50	25	12	11	26

○プルタブ収集状況 年度内収集量 200kg（換金額：19,800円）

(3) 日常生活自立支援事業

高齢や障害等による軽度な判断能力の低下に伴い、一人で生活することの不安感や日常的な金銭管理が困難な方を対象として、基幹的社協（八戸市社協）や関係機関、生活支援員との連携のもとに日常生活上の支援を図った。

- ・利用者数 3名
- ・生活支援員 2名

(4) 介護保険サービス事業等の推進

高齢者や障がい者の自立した在宅生活支援のため、新型コロナウイルスの感染予防・防止対策を徹底しながら、保健・医療・福祉の関係機関並びに関係サービス事業所、町地域包括支援センターと連携し、利用者本位のサービスとして事業の推進を図った。

① 居宅介護支援事業

○介護支援専門員の配置	2名（専任1名、兼任1名）
○ケアプラン作成実利用者数	41名（男性13名、女性28名）
○ケアプラン作成延べ利用者数	339名
○予防ケアプラン作成実利用者数	7名（男性3名、女性4名）
○予防ケアプラン作成延べ利用者数	61名
○要介護認定調査件数	37件
○利用者アンケート調査	調査対象者数 28名 回答者数 17名（回答率60.7%） 実施時期 令和4年1月 調査方法 調査票の郵送

② 訪問介護事業（特定事業所加算Ⅱ算定）

○訪問介護員数	8名（常勤2名、登録型6名）
○実利用者数	46名（男性18名、女性28名）
○期間内利用者合計	386名（介護298名、総合事業88名）
○延べ利用日数	4,811日（介護4,355日、総合事業456日）
○延べ利用回数	6,937回（介護6,481回、総合事業456回）
○延べ利用時間数	4,414時間9分（介護3,958時間9分、総合事業456時間）
○実習生の受入れ	2名（八戸学院大学短期大学部介護福祉学科生2名）
○実習日数	4日
○介護サービス情報公表制度実地調査受審	（令和4年3月25日） ※リモートによる調査
○利用者アンケート調査	調査対象者数 24名（介護保険利用者21名、障害福祉サービス利用者3名） 回答者数 17名（回答率70.8%） 実施時期 令和4年1月 調査方法 調査票の郵送

③ 居宅介護事業（障害福祉サービス）

○実利用者数	3名（視覚障害1名、下肢機能障害1名、精神障害1名）
○期間内利用者合計	27名
○延べ利用日数	182日
○延べ利用回数	208回（通院介助9回、家事援助199回）
○延べ利用時間数	222時間30分（通院介助23時間30分、家事援助199時間）

(5) 福祉サービス苦情解決体制

○苦情解決第三者委員会の開催

- ・期 日 令和3年5月6日（木）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（応接室）
- ・参加者 5名（委員2名、会長、事務局2名）
- ・内 容 委嘱状交付、苦情解決の取組み及び苦情等受付状況の説明

○福祉サービス苦情受付状況

年度内における苦情の申出はなかった。

(6) 各種資金貸付事業の推進

低所得世帯や高齢者世帯、障害者世帯等の日常生活上の経済的支援と自立に向けて、民生委員や県社協、町担当課及び生活困窮者自立支援窓口等との連携のもとに、資金貸付事業の対応を図るとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少し生活に困窮する世帯に対する生活福祉資金の特例貸付の対応を図った。

①たすけあい資金の貸付

○前年度末貸付原資金額	7, 586, 186円
○前年度末貸付金額	2, 985, 914円 (47件)
○本年度貸付金額	0円 (0件)
○本年度償還金額	103, 000円 (2件)
○本年度末貸付金総額	2, 882, 914円 (45件)
○本年度末貸付原資金額	7, 582, 023円

②高額療養費資金の貸付

○前年度末貸付原資金額	4, 189, 972円
○前年度末貸付金額	641, 000円 (3件)
○本年度貸付金額	0円 (0件)
○本年度償還金額	58, 000円 (0件)
○本年度末貸付金総額	583, 000円 (3件)
○本年度末貸付原資金額	4, 189, 972円

③生活福祉資金の貸付

○本年度決定金額	13, 276, 000円 (37件)
----------	---------------------

○利用状況

資金種類	利用件数	貸付決定金額	貸付残高 (元金)
教 育 支 援 資 金	11	6, 232, 290円	4, 416, 580円
緊 急 小 口 資 金	6	390, 000円	161, 250円
離 職 者 支 援 資 金	1	2, 400, 000円	2, 057, 160円
総 合 支 援 資 金	12	14, 231, 000円	12, 190, 880円
特例緊急小口資金	62	11, 100, 000円	11, 100, 000円
特例総合支援資金	28	13, 926, 000円	13, 926, 000円
計	120	48, 279, 290円	43, 851, 870円

※新型コロナウイルス感染症の影響に伴う特例貸付相談件数 83件

(7) フードバンク事業

新型コロナウイルスの影響等により、生活困窮に陥っている世帯に対し、町担当課や生活困窮者自立支援窓口、民生委員等と連携し相談支援と一時的な食糧支援を行った。

・食糧配付世帯数 11世帯 (配付食糧数: 181個)

(8) 移送・移動支援サービス等の実施検討

高齢者や障害のある方等の通院などを目的とした移送・移動支援サービスや、子育てを応援する機器の貸出事業について、三戸郡内町村社協より情報収集等を進めるとともに、地域福祉部会や職員会議において実施等の検討を図った。

IV 災害時支援体制の充実

災害時に備え平常時から機能する体制整備の一環として、「災害ボランティアセンター運営マニュアル」の見直しを行うとともに、要援護者台帳の整備に努めた。また、津波注意報発令により、町担当課と連絡・調整を行いハートフルプラザの避難所開設のための対応を図った。

○避難所開設（再掲）

- ・開設日 令和4年1月16日（日）
- ・避難者 なし

○災害ボランティア講座及び災害ボランティアセンター設置訓練は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

○災害ボランティア等登録状況

- ・災害ボランティア全登録者数 18名（新規登録なし）
- ・災害ボランティアセンター運営スタッフ全登録者数 16名（新規登録なし）

V 社協の機能・体制強化

1. 社協組織の強化

社会福祉法に則して事業運営の透明性の向上に努めるとともに、執行機関としての理事会、議決機関としての評議員会並びに専門部会や幹部会等での協議を行いながら組織運営を図った。また、振込手数料の経費削減と効率的な経理事務を進めるため、インターネットバンキングサービス（あおぎん AB-web）の利用を開始するとともに、外部専門家（税理士）による財務諸表等のチェック・指導を受けながら適正な会計処理と組織運営に努めた。

共同募金の助成を受けて、地域福祉推進の機動力となる車両1台の整備を図った。

- ・整備車両 軽自動車（スズキアルト 4WD）

2. 財政基盤の整備

（1）社協会員の加入促進

各地区とも区長、班長の方々のご協力をいただき、社協事業の理解と周知を図りながら会員加入の促進に努めた。また、新型コロナウイルス感染症の影響により会費納入期間を延長（7月～8月までの2ヶ月間）するとともに、町内法人・事業所の団体会員への加入促進に努めた。

○会員数

会員区分	令和3年度	令和2年度	比較増減
普通会員（1,000円）	2,747	2,736	11
賛助会員（2,000円）	68	60	8
特別賛助会員（5,000円）	20	28	△8
団体会員（3,000円）	51	51	0
合計	2,886	2,875	11

(2) 公費助成の確保

社協が公共性の高い地域福祉推進の中核的組織であることに鑑み、地域福祉推進のための補助金・受託金について、町の理解と公費助成の継続的交付のための働きかけを行った。

○補助金、委託金に係る陳情

- ・期 日 令和3年12月13日(月)
- ・場 所 役場3階委員会室
- ・出席者 10名(町長、副町長、総務課長、総合政策課長、介護福祉課長、福祉グループリーダー、正副会長、常務理事、事務局)

(3) 共同募金運動への協力

階上町共同募金委員会を中心として、共同募金運動の趣旨や配分事業の周知と理解を図りながら、地域福祉活動を支える募金運動への協力を図った。

○目標額 2,610,000円

○募金実績概要

募金種別	実績額
戸 別 募 金	2,195,601円
法 人 募 金	317,372円
学 校 募 金	56,388円
職 域 募 金	4,936円
そ の 他	216,226円
合 計	2,790,523円

3. 職員研修の充実等

社会福祉援助者としての職員の資質向上を図るため、県社協等が主催する外部研修会等へ参加してきたが、新型コロナウイルスの感染予防・防止の観点から対面による研修会等への参加は自粛し、Zoom等によるリモート研修を中心として研修への参加を図った。また、職員会議においてコロナ禍における事業検討や福祉サービス向上のための協議等をととして職員の専門性向上に努めるとともに、正職員全員による自己評価の取り組みを進めた。

○職員会議の開催

毎月1回(12回開催)

○社協自己評価の実施

評価方法：青森県市町村社会福祉協議会自己評価指針により評価を実施した。

評 価 者：正職員全員(7名)

実施時期：令和3年12月～2月(自己評価指針評価シートによるチェック、集計)
3月(評価まとめ)

○外部研修参加状況

・事務局職員

安全運転管理者講習

三戸郡内社協職員研修会(リモート)

三戸郡災害時広域連携活動研修会(リモート)

県市町村社協連絡会三八ブロック研修会 等

・介護事業職員

介護サービス情報の公表制度「10のテーマに係る研修会」(リモート)

八戸地域介護支援専門員協議会研修会(リモート) 等

令和３年度事業報告附属明細書

令和３年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、作成しない。

社会福祉法人
階上町社会福祉協議会
会 長 松橋 竹子